

平成26年度 総務委員会事業計画

1. 活動方針

日本経済はアベノミクス効果で、デフレ脱却にむけ着実に歩んでいるように思われる。為替の安定、株価の上昇などから、各種経済指標も良くなってきているが、残念ながら、まだ、ばね業界にその効果が出てきているとはいえない。

世界経済のグローバル化が進み、最近、各国で取引上の問題が出てきている。ばね業界にもその影響が出てくる可能性がある。それ故、総務委員会として、規程類の見直しを含め、コンプライアンスについて、真剣に討議し、提案していきたい。

また、近年ばね業界においても、海外生産がますます増えてきている。その様な状況の下、総務委員会として、会員相互の交流、情報交換等を推進すると共に、海外視察を含む国際交流を活発に行い、実りある事業を展開していく。

2. 活動の詳細

2. 1 一般社団法人移行後の取り組みについて

平成24年4月の一般社団法人へ移行後、三年計画で実施中の公益目的支出計画の最終年度になる。同計画満了に向けて着実に実施するとともに、同計画満了後に到来する自主運営移行の機会を捉え、ばねの事業者団体としてばね産業の進むべき方向、それを実現するために一般法人として取り組むべき事業の在り方および団体運営の在り方を取り纏め理事会へ提言する。

コンプライアンスへの取り組みとして、本年度中に規程及びガイドライン、会員および職員行動指針の制定を目指す。必要に応じて啓蒙活動として独占禁止法等のセミナー、講習会等を本部で開催するとともに、支部でも開催するよう指導していく。

2. 2 委員会開催について

委員会は4回とし、下記の日程場所で開催する。

- 平成26年5月9日(金) 東京
- 7月9日(水) 名古屋
- 12月10日(水) 大阪
- 平成27年2月25日(水) 東京

2. 3 国際交流事業について

2. 3. 1 E S F主催 国際ばね生産者会議への参加について

平成26年4月9日にデュッセルドルフでE S F（欧州ばね連合）が開催する会議に参加し、我が国のばね産業の現況を報告するとともに、各国との情報交換を行う。

2. 3. 2 海外視察団の派遣について

本年度も実施することとし、視察先及び実施時期は関係者の意見を反映し決定する。

2. 4 統計事業

2. 4. 1 ばねの生産、輸・出入に関する統計を確実に実施し、速やかに機関誌およびホームページ等での公表に努める。

2. 4. 2 会員の海外事業概略調査を7月頃に実施する。

前回（平成25年7月）から概略調査を実施、毎年1回概略調査を継続して実施する。調査結果の概要を機関誌およびホームページで公表する。

詳細調査は4年又は5年に1回の頻度で実施する。

2. 5 広報活動

- ①機関誌ばねを例年通り隔月6回発行するとともに、発行後速やかにホームページに掲載する。
- ②ホームページの充実を図るべく、各委員会事務局および支部事務局へ指導・要請する。
- ③日本ばね工業会プロフィール2014（日文・英文併記）を改訂発行する。
- ④会員への広報活動の充実のため、実施事業について支部毎に説明会を開催し、広報に努める。
- ⑤各種展示会への共催名義貸与
テクノフロンティア2014（一社）日本能率協会主催

3. 委員会名簿

区分	氏名	所属	役職	備考
委員長	伊藤 雅之	月島発条株式会社	代表取締役社長	
副委員長	河久保光茂	株式会社スミハツ	代表取締役社長	新任
副委員長	林 俊行	中庸スプリング株式会社	代表取締役社長	
副委員長	高尾 修	株式会社三協スプリング製作所	代表取締役社長	新任
委員	荒井 武志	株式会社東京発条製作所	取締役会長	
委員	片平 修一	京浜発条株式会社	代表取締役社長	新任
委員	井澤 正明	日本発条株式会社	秘書部長	
委員	佐藤 基行	三菱製鋼株式会社	常務取締役	
委員	石黒 浩司	中央発条株式会社	経営管理部長	
委員	早川 徳男	株式会社東郷製作所	取締役総務部長	
委員	糟谷 信嘉	名興発条株式会社	代表取締役社長	
委員	高木 昌一	マルホ発条工業株式会	常務取締役	新任
委員	道場 康人	株式会社千代田発条製作所	代表取締役社長	新任
委員	片谷 勉	株式会社特発三協製作所	代表取締役社長	新任